令７　特別支援学校（８枚のうち１）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

Ⅰ　特別支援教育全般について、次の問いに答えなさい。

１　次の「障害のある子供の教育支援の手引」（令和３年）における一貫した教育支援の重要性に関する説明の抜粋を読んで、あとの問いに答えなさい。

> 障害のある子供一人一人の教育的ニーズを（　A　）・整理し，適切な（　B　）及び必要な支援を図る特別支援教育の（　C　）を実現させていくためには，(a)早期からの教育相談・支援，（　D　）相談・支援，（　D　）後の継続的な教育支援の全体を「一貫した教育支援」と捉え直し，個別の教育支援計画の作成・（　E　）等の推進を通じて，子供一人一人の教育的ニーズに応じた教育支援の充実を図ることが，今後の特別支援教育の更なる推進に向けた基本的な考え方として重要である。
>
> 個別の教育支援計画の作成・（　E　）等により，障害のある子供一人一人について，①教育的ニーズの整理，②支援の目標や(b)教育上の合理的配慮を含む必要な支援の内容の検討，③関係者間の（　F　）共有の促進と（　G　）認識の醸成，④家庭や（　H　），福祉，保健，労働等の関係機関との連携強化，⑤教育的ニーズと必要な支援の内容の（　I　）的な見直し等による継続的な支援，などの効果が期待でき，その取組を強力に推進していくことは，特別支援教育の（　C　）の実現につながるものである。

(1)　文中の（　A　）～（　I　）に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

(2)　下線部(a)に関する次の文**ア**～**ウ**について、正しいものには○を、誤っているものには×を、それぞれ書きなさい。

ア　乳幼児健康診査や５歳児健康診査等と就学前の療育・相談との連携、認定こども園・幼稚園・保育所等と小学校や義務教育学校前期課程との連携、子供家庭支援ネットワークを中心とした事業など、教育委員会と福祉部局とが早期から連携して、子供の発達支援や子育て支援の施策を行うことで、支援の担い手を多層的にすることが重要である。

イ　障害のある子供に対し、その障害を早期に把握し、早期からその発達に応じた必要な支援を行うことは、その後の自立や社会参加に大きな効果があると考えられる。

ウ　乳幼児期から幼児期にかけて子供が専門的な教育相談・支援が受けられる体制を確立する際には、保護者等の心情に配慮して、可能な限りゆっくり進めることが求められる。

(3)　下線部(b)に関する次の文中の下線部**ア**～**オ**について、正しいものには○を、誤っているものには正しい語句を、それぞれ書きなさい。

> ・「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」（平成 24 年７月 23 日初等中等教育分科会）における合理的配慮を提供するに当たっての観点として、①**ア**教育目標・方法、②**イ**支援体制、③**ウ**施設・設備が示された。
>
> ・合理的配慮の決定・提供に当たっては、各学校の設置者及び学校が体制面、財政面をも勘案し、「**エ**均衡を失した」または「**オ**極度の」負担について、個別に判断することとなる。

２　特別支援学校で使用する教科書について、「障害のある子供の教育支援の手引」（令和３年）を参考に述べた次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

> ・教科書について、特別支援学校（知的障害）小学部・中学部用の教科書として、文部科学省の著作による国語、算数・数学、音楽の教科書が作成されており、基本的には、それらの教科書の使用（　①　）がある。それら以外の各（　②　）及び高等部の各（　②　）については、文部科学省による（　③　）教科書又は検定教科書は発行されていない。
>
> ・そのため、学校教育法附則第（　④　）条の規定に基づき、（　⑤　）の定めるところにより、他の適切な教科書（一般図書を含む）を使用することができるようになっていることから、子供の実態等に即した教科書としてそれらが採択され、使用されている。
>
> ・特別支援学校（視覚障害）の各教科等の指導に当たって、（　A　）を常用して学ぶ子供には、（　A　）教科書を使用し、主として触覚や聴覚を活用した学習を行っている。

(1)　文中の（　①　）～（　⑤　）に入る適切な語句や数字を、次の**＜語群＞ア**～**ソ**からそれぞれ１つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句や数字が入る。

＜語群＞

ア　科目	**イ**　検閲	**ウ**　23	**エ**　段階	**オ**　4	**カ**　著作	**キ**　責務	**ク**　文部科学大臣
ケ　設置者	**コ**　義務	**サ**　9	**シ**　教科	**ス**　選定	**セ**　認定	**ソ**　校長	

(2)　下線部について、令和６年度から新たに追加となった小学部知的障害者用著作教科書の教科名を書きなさい。

(3)　文中の（　A　）に入る適切な語句を書きなさい。

令７　特別支援学校（８枚のうち２）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

３　次の⑴～⑷の文について、文中の（　①　）～（　④　）に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。

⑴　改正障害者差別解消法（令和６年４月１日施行）では、事業者による障害のある人への合理的配慮の提供が（　①　）された。

⑵　特別支援教育（　②　）とは、障害のある幼児児童生徒が特別支援学校や小学校・中学校の特別支援学級等で学ぶ際に、保護者が負担する教育関係経費について、家庭の経済状況等に応じ、国及び地方公共団体が補助する仕組みのことである。

⑶　通級による指導の実施形態として、児童生徒が在籍する学校で指導を受ける「自校通級」、他の学校に通級して指導を受ける「他校通級」及び通級による指導の担当教師が該当する児童生徒のいる学校に赴き指導する「（　③　）指導」がある。

⑷　医療的ケアとは、病院などの医療機関以外の場所（学校や自宅など）で日常的に継続して行われる、喀痰（　④　）や経管栄養、気管切開部の衛生管理、導尿、インスリン注射などの医行為を指す。

Ⅱ　特別支援学校学習指導要領について、次の問いに答えなさい。

１　次の文は、「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説　自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）」（平成 30 年）から抜粋したものである。文中の（　①　）～（　⑦　）に入る語句として適切なものを、あとの**＜語群＞ア**～**セ**からそれぞれ１つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

・個別の指導計画に基づく自立活動の指導は，（　①　）指導の形態で行われることが多いが，指導目標（ねらい）を達成する上で効果的である場合には，幼児児童生徒の（　②　）を構成して指導することも考えられる。しかし，自立活動の指導計画は（　①　）に作成されることが基本であり，最初から（　②　）で指導することを前提とするものではない点に十分留意することが重要である。

・自立活動の目標は，学校の（　③　）全体を通して，児童生徒が障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要とされる知識，（　④　），態度及び習慣を養い，心身の調和的発達の基盤を培うことによって，自立を目指すことを示したものである。ここでいう「自立」とは，児童生徒がそれぞれの障害の状態や発達の段階等に応じて，主体的に自己の力を可能な限り発揮し，（　⑤　）生きていこうとすることを意味している。

・「調和的発達の基盤を培う」とは，一人一人の児童生徒の発達の遅れや（　⑥　）を改善したり，発達の進んでいる側面を更に伸ばすことによって遅れている側面の発達を促すようにしたりして，（　⑦　）な発達を促進することを意味している。

＜語群＞

ア　授業	**イ**　技能	**ウ**　よりよく	**エ**　学年	**オ**　個別	**カ**　前向きに	**キ**　教育活動
ク　不均衡	**ケ**　必要	**コ**　理解	**サ**　課題	**シ**　全人的	**ス**　特性	**セ**　集団

２　「特別支援学校学習指導要領解説　各教科等編（小学部・中学部）」（平成 30 年）「第４章　知的障害である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科」の内容について、次の問いに答えなさい。

⑴　次の文は、各教科等を合わせて指導を行う場合についての内容を抜粋したものである。文中の（　①　）～（　⑤　）に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。

・各教科等を合わせて指導を行う場合とは，各教科，（　①　），特別活動，自立活動及び小学部においては（　②　）の一部又は全部を合わせて指導を行うことをいう。

・中学部においては，（　③　）を適切に設けて指導をすることに留意する必要がある。

・各教科等を合わせて指導を行う場合においても，各教科等の目標を達成していくことになり，育成を目指す（　④　）を明確にして（　⑤　）を立てることが重要となる。

⑵　次の**ア**～**エ**の文について、下線部が正しいものには○を、誤っているものには正しい語句を、それぞれ書きなさい。

ア　日常生活の指導は、児童生徒の日常生活が充実し、高まるように日常生活の諸活動について、知的障害の状態、<u>生活年齢</u>、学習状況や経験等を踏まえながら計画的に指導するものである。

イ　遊びの指導は、主に小学部段階において、遊びを学習活動の中心に据えて取り組み、身体活動を活発にし、<u>仲間</u>とのかかわりを促し、意欲的な活動を育み、心身の発達を促していくものである。

ウ　生活単元学習は、児童生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって、<u>自己実現</u>や社会参加のために必要な事柄を実際的・総合的に学習するものである。

エ　作業学習は、作業活動を学習活動の中心にしながら、児童生徒の働く意欲を培い、将来の<u>勤労意欲</u>や社会自立に必要な事柄を総合的に学習するものである。

令７　特別支援学校（８枚のうち３）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

３　次の⑴～⑷は、「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説　総則編（幼稚部・小学部・中学部）」（平成 30 年）の中から、幼稚部について述べた文である。正しいものには○を、誤っているものには×を、それぞれ書きなさい。

⑴　幼児期の教育は、大きくは地域と幼稚部で行われ、両者は連携し、連動して一人一人の育ちを促すことが大切である。

⑵　幼児の障害に対応する側面から、その障害による学習上又は生活上の困難の改善・克服に関する領域「自立活動」が設けられている。

⑶　一人一人の幼児に対する理解に基づき、環境を計画的に構成し、幼児の主体的な活動を直接援助すると同時に、教師自らも幼児にとって重要な環境の一つであることをまず念頭に置く必要がある。

⑷　小学部又は小学校の教師と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに子供の姿を共有するなど、幼稚部における教育と小学部又は小学校教育の円滑な接続を図ることが大切である。

４「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説　総則編（幼稚部・小学部・中学部）」（平成 30 年）「第３編　小学部・中学部学習指導要領解説　第２章　教育課程の編成及び実施　第２節　小学部及び中学部における教育の基本と教育課程の役割」から抜粋した次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

> 各学校においては，児童又は生徒や学校，（　①　）の実態を適切に把握し，教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等（　②　）な視点で組み立てていくこと，教育課程の実施状況を評価してその（　③　）を図っていくこと，教育課程の実施に必要な（　④　）又は物的な体制を確保するとともにその（　③　）を図っていくことなどを通して，教育課程に基づき（　⑤　）かつ計画的に各学校の教育活動の（　⑥　）の向上を図っていくこと（以下「（　A　）」という。）に努めるものとする。

⑴　文中の（　①　）～（　⑥　）に入る語句として適切なものを、次の**＜語群＞ア～シ**からそれぞれ１つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

＜語群＞

ア　系統的	**イ**　改善	**ウ**　内容	**エ**　地域	**オ**　環境	**カ**　組織的
キ　実施状況	**ク**　横断的	**ケ**　人的	**コ**　検討	**サ**　定期的	**シ**　質

⑵　文中の（　A　）に入る適切な語句を書きなさい。

Ⅲ　障害種別について、次の問いに答えなさい。

（病弱・身体虚弱）

１　病弱・身体虚弱のある子供の教育について、「障害のある子供の教育支援の手引」（令和３年）を参考に述べた次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

> 病弱・身体虚弱のある子供にとって、病気等のため（　①　）や活動量が制限されている場合に、ＩＣＴ等を活用し、友達との手紙や（　②　）の交換など（　③　）な体験、（　④　）会議システム等を活用した同時双方向型の授業配信の実施や遠隔地の友達と協働した取組、リアルタイムのコミュニケーション、（　⑤　）等を活用した疑似体験等、他の人とのコミュニケーションの機会を提供する。他に、（　⑥　）動画等の活用など体験的な活動を通して基礎的な概念の形成を図るなど、入院による日常生活や（　⑦　）等の体験不足を補うことができるようにする。また、入院や手術、病気の進行への不安等を理解し、（　⑧　）に応じて治療過程での学習可能な時期を把握し健康状態に応じた支援、（　⑨　）の原因となる物質の除去、（　⑩　）に応じた適切な運動等について医療機関と連携等、弾力的に行う。

⑴　文中の（　①　）～（　⑩　）に入る語句として適切なものを、次の**＜語群＞ア～タ**からそれぞれ１つ選んで、その符号を書きなさい。

＜語群＞

ア　病状	**イ**　直接的	**ウ**　心臓疾患	**エ**　Ｗｅｂ	**オ**　心理状態	**カ**　メール
キ　免疫	**ク**　医療的ケア	**ケ**　アレルギー	**コ**　呼吸	**サ**　ペースメーカー	**シ**　ＶＲ
ス　集団活動	**セ**　移動範囲	**ソ**　インターネット	**タ**　間接的		

令７　特別支援学校（８枚のうち４）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

(2)　次の**ア**～**エ**の文について、下線部が正しいものには○を、誤っているものには正しい語句を、それぞれ書きなさい。

ア　病弱とは、身体が病気のため弱っている状態をいう。また、身体虚弱とは、病気ではないが身体が不調な状態が続く、病気にかかりやすいといった状態をいう。

イ　最近の特別支援学校（病弱）に在籍する、うつ病等の精神疾患の子供の中には、自閉症等の発達障害を併せ有する者や不登校を経験した者は少なくなってきている。

ウ　災害等発生後については、薬や非常用電源を確保するとともに、長期間の停電に備え手動で使える機器等を整備する必要がある。

エ　病弱教育では、病気等の自己管理能力を育成することは重要な指導内容の一つであるため、病弱・身体虚弱の子供にとって必要な生活規制とは、他人からの規制ではなく「生活の自己管理」と考えて取り組むことが大切である。

（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由）

２　「障害のある子供の教育支援の手引」（令和３年）から抜粋した、早期からの教育的対応の重要性について述べた次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

乳幼児期は，心身の発達に極めて重要な時期である。特に（　①　）期は，自分を取り巻く人々へのかかわり方を学び，周囲の物事についての理解を深め，社会生活を送る際のルールについても学習し，（　②　）期に向けての基礎づくりをする大切な時期と言える。この時期の一般的な発達上の目標としては，おおよそ次のものが挙げられる。

・（　③　）・姿勢能力の向上
・（　④　）能力の促進
・食事や排せつ等の（　⑤　）の習慣形成
・周囲の人との情緒的なつながりに基づく，安定した（　⑥　）の形成
・自分と自分を取り巻く社会についての簡単な概念の形成
・社会的（　⑦　）についてのある程度の理解の学習
・小集団における最低限の言動の（　⑧　）の学習
・（　⑨　）機能の向上

(a)視力の発達は，出生後から急速に進み，６～７歳でほぼ大人と同じ見え方になり，（　⑩　）歳頃までに視力が安定する。つまり，生理学的に視力の発達期（臨界期）がある。（　⑪　）に問題がなくても，見る経験が不十分であると視力は発達せずに見えにくい状態となる場合がある。

(b)聞こえの発達は，生得的に備わっているものの上に，生後の学習によって得られたものが積み上げられ，次第に高められていく性質をもっている。このため，音や（　⑫　）を感じ取る力（音の検出），音を聞き分ける力（音の弁別），音と特定の事象とを結び付けて（　⑬　）しておく力，音や言葉を理解しこれを基に判断したり比べたりする力などを把握しておく必要がある。

肢体不自由のある子供の場合は，保有する視覚，聴覚，触覚，嗅覚，（　⑭　），前庭覚などの感覚を有効に活用することが困難な場合がある。肢体不自由の起因疾患で最も多くの割合を占めているのは，（　⑮　）を主とする脳原性疾患である。（　⑮　）児の多くは，（　⑯　）障害を随伴していると言われている。まひ性構音障害の場合には，(c)言語の表出のための補助的手段の活用によって，意思の伝達が可能になることがあるので，それらを活用する力を促すことが大切である。

(1)　文中の（　①　）～（　⑯　）に入る語句や数字として適切なものを、次の**＜語群＞ア**～**ノ**からそれぞれ１つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句や数字が入る。

＜語群＞

ア　音声	**イ**　15	**ウ**　成人	**エ**　血液疾患	**オ**　幼児
カ　認知	**キ**　言語	**ク**　固有覚	**ケ**　10	**コ**　記憶
サ　身辺自立	**シ**　運動	**ス**　乳児	**セ**　脳性まひ	**ソ**　青年
タ　学齢	**チ**　筋緊張	**ツ**　視機能	**テ**　人間関係	**ト**　制約
ナ　コミュニケーション	**ニ**　コントロール	**ヌ**　二分脊椎症	**ネ**　ルール	**ノ**　視覚

(2)　下線部(a)の測定に用いる視標の名称を書きなさい。

(3)　下線部(b)について、蝸牛に電極を埋め込み、外部装置を調整して装用する人工臓器の名称を書きなさい。

(4)　下線部(c)の言語の表出のための補助的手段で、50音の文字盤を備えており、直接ボタンを押すことで文章を作って相手に意思を伝えるコミュニケーション機器の名称を、カタカナ８字で書きなさい。

令７　特別支援学校（８枚のうち５）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

Ⅳ　教員Ａは大学を卒業後、特別支援学校の小学部に配属され、知的障害のある小学部３年生児童Ｂの担任をすることになった。次の問いに答えなさい。

１　教員Ａは、特別支援学校（知的障害）の対象となる障害の状態について、「障害のある子供の教育支援の手引」（令和３年）で次の内容を確認した。あとの問いに答えなさい。

> 一　知的発達の遅滞があり，（　①　）が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする程度のもの
> 二　知的発達の遅滞の程度が前号に挙げられる程度に達しないもののうち，（　②　）への適応が著しく困難なもの
>
> （学校教育法施行令第 22 条の３）
>
> ここでいう，「知的発達の遅滞があり」とは，（　③　）などに関わる知的機能の発達に明らかな遅れがあるという意味である。つまり，精神機能のうち，（　④　）とは区別される知的面に，（　⑤　）と比較して平均的水準より明らかな遅れが有意にあるということである。

⑴　文中の（　①　）～（　⑤　）に入る適切な語句を、次の**＜語群＞ア～シ**からそれぞれ１つ選んで、その符号を書きなさい。

＜語群＞

ア　社会生活	**イ**　基本的な動作	**ウ**　コミュニケーション	**エ**　認知や言語
オ　言語環境	**カ**　情緒面	**キ**　学習活動	**ク**　安定した人間関係の形成
ケ　他人との意思疎通	**コ**　通常の学級	**サ**　動作の模倣	**シ**　同年齢の子供

⑵　今日的な障害の捉え方については、平成 13 年に WHO が採択した、疾病等に基づく側面と社会的な要因による側面を考慮した、「国際生活機能分類」に基づいている。この分類を何というか、アルファベット３字で書きなさい。

⑶　知的障害のある子供の学習上の特性について、次の**＜語句＞**をすべて使って簡潔に書きなさい。

＜語句＞

・実際の生活の場面　　・断片的　　・学習によって得た知識や技能

２　次の**＜児童Ｂの実態＞**を読んで、あとの問いに答えなさい。

＜児童Ｂの実態＞

・歩行中に転倒することが多い。
・発音は不明瞭である。
・小学部２年生の３学期にてんかん発作が起き、服薬を始めた。
・学習に集中して取り組める時間は短い。
・友だちに自分の思いが伝わらないときは、友だちを叩いたり、髪の毛を引っ張ったりしてしまうことがある。
・理解言語は多く、ひらがなは半数程度読むことができる。
・１～10 までの数唱はできる。
・自分の名前を書くことはできるが、文字の形を整え、マス目の中に書くことは難しい。

⑴　教員Ａは保護者と懇談し、児童Ｂが安全に学校生活を送る上で次のような対応を行うことにした。文中の（　①　）、（　②　）に入る、児童Ｂの実態として適切なものを、**＜児童Ｂの実態＞**からそれぞれ抜き出して書きなさい。

・（　①　）ことから、ヘッドギアやサポーターを身に着けることにした。
・（　②　）ことから、学校医と情報を共有するとともに、緊急時を想定した教員の動きを学部内で確認することとした。

⑵　教員Ａは、友だちを叩いたり、髪の毛を引っ張ったりする児童Ｂの行動に対する指導について、「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説　自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）」（平成30年）を参考にして、次のように考えた。文中の（　①　）～（　④　）に入る適切な語句を、あとの**＜語群＞ア～コ**からそれぞれ１つ選んで、その符号を書きなさい。

・自分を落ち着かせることができる場所に移動して、（　①　）に取り組むなどの経験を積み重ねていきながら、（　②　）を静める方法を教える。
・様々な感情を表した（　③　）やメモなどを用いて（　④　）を伝えるなどの手段を身に付けられるよう指導する。

＜語群＞

ア　粗大運動	**イ**　自分の気持ち	**ウ**　絵カード	**エ**　作文	**オ**　他人の気持ち
カ　特別な活動	**キ**　興奮	**ク**　不安	**ケ**　慣れた別の活動	**コ**　１日のスケジュール

３　児童Ｂは、衣服のボタンの着脱や、はさみなどの道具の操作に困難さがあることが分かった。次の問いに答えなさい。

⑴　衣服のボタンの着脱や、はさみなどの道具の操作に困難さがある原因として考えられることについて、教員Ａは、「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説　自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）」（平成30年）の以下の文を参考にすることとした。次の文中の（　①　）～（　③　）に入る適切な語句を、解答欄に合うようにそれぞれ書きなさい。

目と手指の（　①　）動作の困難さや巧緻性，持続性の困難さなどの他，認知面及び（　②　）の課題，あるいは日常生活場面等における（　③　）不足などが考えられる。

⑵　教員Ａは、「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説　自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）」（平成30年）の以下の文を参考に、児童Ｂの具体的な指導計画を立てることとした。文中の（　①　）～（　③　）に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。

幼児児童生徒が意欲的に活動に取り組み，道具等の使用に慣れていけるよう，興味や関心がもてる内容や課題を工夫し，使いやすい適切な道具や素材に配慮することが大切である。その上で，課題の難易度を考慮しながら，例えば，衣服の脱着では，ボタンはめの前に（　①　）から取り組むことや，ボタンや穴の大きさを徐々に（　②　）すること，はさみを使用する際には，切る長さを徐々に（　③　）したり，直線から曲線など切る形を変えたりすることなどの日常生活に必要な基本動作を指導していくことが大切である。

受験番号

令7　特別支援学校解答用紙（8枚のうち7）

総計

特別支援

Ⅰ	1	(1)	A				B				C						
			D				E				F						
			G				H				I						
		(2)	ア		イ		ウ										
		(3)	ア				イ				ウ						
			エ				オ										
	2	(1)	①		②		③		④		⑤						
		(2)															
		(3)															
	3	(1)	①		(2)	②			(3)	③							
		(4)	④														

Ⅰ

Ⅱ	1	①		②		③		④		⑤		⑥		⑦			
	2	(1)	①				②				③						
			④				⑤										
		(2)	ア				イ				ウ				エ		
	3	(1)		(2)		(3)		(4)									
	4	(1)	①		②		③		④		⑤		⑥				
		(2)															

Ⅱ

受験番号

令7　特別支援学校解答用紙（8枚のうち8）

Ⅲ	1	(1)	①		②		③		④		⑤					
			⑥		⑦		⑧		⑨		⑩					
		(2)	ア			イ				ウ				エ		
	2	(1)	①		②		③		④		⑤					
			⑥		⑦		⑧		⑨		⑩					
			⑪		⑫		⑬		⑭		⑮		⑯			
		(2)						(3)								
		(4)														

Ⅳ	1	(1)	①		②		③		④		⑤	
		(2)										
		(3)										
	2	(1)	①									
			②									
		(2)	①		②		③		④			
	3	(1)	①			②				③		
		(2)	①			②				③		

Ⅲ		

Ⅳ		

受験番号

令7　特別支援学校模範解答（8枚のうち7）

総計 200

特別支援

Ⅰ	1	(1)	A	把握			B	指導			C	理念					
			D	就学			E	活用			F	情報					
			G	共通			H	医療			I	定期					
		(2)	ア	○	イ	○	ウ	×									
		(3)	ア	教育内容			イ	○			ウ	○					
			エ	○			オ	過度									
	2	(1)	①	コ	②	シ	③	カ	④	サ	⑤	ケ					
		(2)	せいかつ（生活）														
		(3)	点字														
	3	(1)	①	義務化			(2)	②	就学奨励費		(3)	③	巡回（巡回による）も可				
		(4)	④	吸引													

Ⅰ 54

Ⅱ	1	①	オ	②	セ	③	キ	④	イ	⑤	ウ	⑥	ク	⑦	シ		
	2	(1)	①	道徳科			②	外国語活動			③	総合的な学習の時間					
			④	資質・能力			⑤	指導計画									
		(2)	ア	○			イ	○			ウ	自立			エ	職業生活	
	3	(1)	×	(2)	○	(3)	○	(4)	○								
	4	(1)	①	エ	②	ク	③	イ	④	ケ	⑤	カ	⑥	シ			
		(2)	カリキュラム・マネジメント														

Ⅱ 57

受験番号

令7　特別支援学校模範解答（8枚のうち8）

Ⅲ	1	(1)	①	セ	②	カ	③	タ	④	エ	⑤	ソ		
			⑥	シ	⑦	ス	⑧	オ	⑨	ケ	⑩	ア		
		(2)	ア	心身	イ	多く	ウ	○	エ	○				
	2	(1)	①	オ	②	タ	③	シ	④	ナ	⑤	サ		
			⑥	テ	⑦	ネ	⑧	ニ	⑨	カ	⑩	ケ		
			⑪	ツ	⑫	ア	⑬	コ	⑭	ク	⑮	セ	⑯	キ
		(2)	ランドルト環	(3)	人工内耳									
		(4)	ト	ー	キ	ン	グ	エ	イ	ド				

Ⅳ	1	(1)	①	ケ	②	ア	③	エ	④	カ	⑤	シ		
		(2)	I	C	F									
		(3)	学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく、実際の生活の場面の中で生かすことが難しい。											
	2	(1)	①	歩行中に転倒する										
			②	小学部２年生の３学期にてんかん発作が起き、服薬を始めた										
		(2)	①	ケ	②	キ	③	ウ	④	イ				
	3	(1)	①	協	応	②	運	動	面	③	経	験		
		(2)	①	ボタン外し	②	小さく	③	長く						

Ⅲ	43

Ⅳ	46